

ご自宅内での転倒リスクについて

皆様は自宅内で転ぶ・つまずくなど考えた事はありますか？

高齢者事故の発生場所が一番多いのは自宅内で、事故全体の7割を占めております。その中でも特に多いのが、居室・台所・寝室・お風呂場・階段です。

転倒や事故を防ぐ対策としては、

◎動線の確保。普段通る場



所に物や障害物を置かない。

◎カーペット・絨毯のサイズ、敷き方の向きを変えて、動

線に床との段差を作らない。

が挙げられますが、その他の方法として、手すりの設

置に関する相談がよくあります。手すりは介護保険

で設置する事が可能で、工事で設置・レンタルで設置

と大きく分けると2種類あります。

工事で設置する分は、壁

面に取り付ける形で一般的な手すりのイメージです。

廊下やお風呂場・お手洗いななどに設置します。

レンタルの手すりとなる

と、置き型タイプ・ポール

型タイプと2種類ありま

す。置き型は鉄板の重たい

ベース板に手すりが付いてい

て、置くだけで設置が可能

です。ポール型は突っ張り棒

のようなイメージです。取

り外しも可能でお試しも

できます。

なかなかイメージが湧か

ない場合は、キタバ薬局メデ

イカルスクエア店までお越し

ください。ショールームが2

Fにありますので、実物を

ご確認いただけます。

10月10日は「転倒予防の

日」です。これを機にご自宅

内の危険な個所の見直しは

いかがでしょうか？

やすらぎの村

福祉用具貸与事業

富田林営業所長 原田 一輝